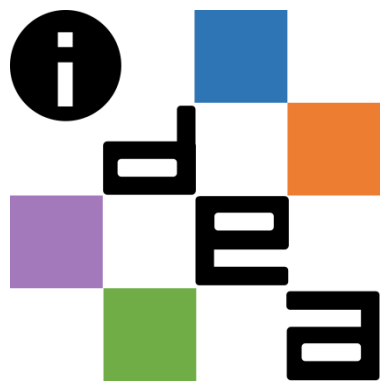




NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター アイデア

2016

8月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



- | | | |
|---|---------|--------------------------------|
| 2 | 二言三言 | 自治会長サミット開催報告-自治会長さんたちが語った二言三言- |
| 4 | 団体紹介 | 失語症友の会<一関地方>(一関) |
| 5 | 地域紹介 | 大東町猿沢 下猿沢自治会(大東) |
| 6 | 企業紹介 | MAPSパラグライダースクール(室根) |
| 7 | センターの〇〇 | 夏本番!!~夏祭り特集~ |

自治会長サミット開催報告 —自治会長さんたちが語った二言三言—

対談者・聞き手 各地域の自治会長さん・民区長さん・役員の方々

地域の枠を超えた交流会の開催

今回は6月に開催した「自治会長サミット」の開催報告とあわせ、ご参加いただいた自治会長さんたちが話した二言三言についてご紹介いたします。

自治会長サミットは、旧市町村の枠を超えて自治会長さんや民区長さんの交流の場をつくろうと初めて企画させていただいたもので、自治会活動の自慢や取り組み事例の紹介、悩みや困りごとを発散して、その中から今後の地域づくりのヒントを持ち帰っていただくという目的で開催しました。サミットは6月17日（金）～18日（土）の2日間で、市内各地域から31名の方にご参加いただきました。



サミットの前半は、いちのせき市民活動センター長の小野寺浩樹より「協働のまちづくりにおける自治会長のポジション」と題し、協働のまちづくりが制定された背景を将来の人口予測や地域の課題から解説し、協働体設立後の推進体制や事業推進の考え方について話題提供。持続可能な地域であるために今は仕組みを再構築する転換期であり、地域住民に地域づくりへの興味関心を持たせ役割分担をしていくことが大切とまとめました。

一関市社会福祉協議会の菅原敏さんからは「まちづ

くりと地域福祉」を題に、まちづくりと地域福祉の考え方について講話をいただきました。福祉とは「幸せ」や「豊かさ」を意味し、考え方はまちづくりと同じく、地域で互いに存在を認知し役割や生きがいを持つことが豊かな生活を送ることであり、足りないところは互いに補完し合う「自立するための支援」が大切との話がありました。住民同士の“つながり”を意識することで“気になる”が生まれ、それが「支え合い」や「見守り」になるというところでは、参加者の方々はそれぞれ頷き共感している様子が伺え自治会長として支援の本質を深く考えさせられるお話となりました。

自治会の「自慢」と「悩み」を共有

後半は、ご参加いただいた自治会長さん・民区長さんや役員の方々とワークショップを行いました。テーブルではできるだけ同じ地域の方で固まらないようグループ分けし、「自治会活動の自慢や取り組み事例」と「自治会活動の悩み・困りごと」の2つのテーマで自由に発言していただきました。以下、ワークショップで出されたご意見を紹介します。

【自治会活動の自慢や取り組み事例】

●運営に関すること

「定期的に各部の事業見直しを行っている」「役員改選では組閣型（トップを先に決め、その人が役員を次々指名する方法）を取り入れたら改選時間を短くスムーズに行えるようになった」「役職は人の目を気にしてもちたがらないため、役割を持たせることを大事にしている」「自治会と民生委員が連携し高齢者の把握と連絡網をつくった」「自治会独自の自治会憲章をもっている」「清掃や草刈り活動に参加できない方から、気持ちとして少額のお金を集めそれを自治会活動費に充てている」「地域の中で何か一芸に秀でた方や

技術を持っている方を講師にしている。(剪定作業の講習会→実地作業→花壇づくり等といった流れ) 事業に伴い作業も皆で楽しむことで参加率が上がっている」「空き地を利用して『畑の会』という集いの場をつくっている」「今年で28回目になる『森は海の恋人植樹祭』は行政の力を借りず自治会で運営しているが、中山間事業など収入に結びつくものは何にでも食らいつくようにして『お金づくり』を大切にしている」。

行事のマンネリ化に対して、「スポーツ大会を競技性を薄くしたレクリエーション大会に変更した」「実施時間を短くした」「自治会単独でできないものは、協議会単位で運営するようにした」。



●地域コミュニケーションに関すること

「回覧板に書き物を添え呼びかけを頑張っている」「自治会報は写真を多く載せ、行事の予定や振り返りを楽しめるようにしている」「写真を活動アルバムにしたり、集会所に掲示したりしている。そうすると記録を残すことで引き継ぎがしやすくなる」。



●若者の参加に関すること

「自治会に独身者を含めた40歳以下で構成する『未来部』を置き、夏祭りを任せた。若手リーダーが育ち3年かけて活発に動けるようになった」「自治会敬老

会で小学生にも役割(受付・誘導など)を持たせたことで、子どもの参加者が増えた」「隣・近所の民区と合同で子ども神輿を復活させた」「子供会育成会に自治会から補助を出している」「年8回『わんぱくひろば』(ハイキング・キャンプ等)を実施している」「土曜の夜に卓球大会を企画してみた。活動が軌道にのるまではお世話し、後は自由にやらせたい」「盆踊りを大幅にパワーアップさせた。トラックの舞台、スリッパ飛ばしなどの呼び水になるものを工夫し、世代間交流に繋げている」。

【自治会活動の悩み・困りごと】

●運営に関すること

「後継者や役の成り手不足」「活動のマンネリ化」「自治会長・民区長の仕事が多すぎる」「少子高齢化により地域行事の運営が難しくなっている」「住民同士の絆の薄れ」「さまざまな課題に対して、地域ではなく行政がやるものという意識からの脱却」「子どもが少なく上スポ少でとられる」「PTAなどの若者世代との関係構築が難しい」「女性の参加が少ない」「ゴミ出しマナーが悪く、自治会長が仕分けし直している」。



ワークショップで使用した模造紙は7枚にもなりました

●協働のまちづくりに関すること

「役員の合意形成ができていない」「活動や話し合いの結果が地域に降りておらず、一住民まで情報が届いていない」「組織の動かし方がわからない」「話し合いの場において、自治会長・民区長の立場で発言するべきところを個人の意見で発言する人がいる」。

ワークショップでは、皆さん熱心に意見・情報交換をしていただきました。それぞれ皆さんの地域に持ち帰り活動に役立てていただければ幸いです。今後も自治会長さん・民区長さん、役員の方の意見・情報交換する場をもちたいと考え、第2回目の開催を検討しています。

団体 紹介



失語症友の会<一関地方>の皆さん

～基本情報～

- ◆会 長：佐々木清治さん
- ◆連絡先：〒021-0872 一関市宮坂町 1-20
- ◆電 話：0191-23-6173
(連絡先・電話とも事務局阿部幸子宛)
- ◆例 会：毎月第2土曜日 14～16 時
但し1月、2月、8月は休会
- 会 場：主に一関市総合福祉センター

「来て良かった」と思ってもらえる会に

知られていない失語症と友の会

「失語症」「失語症友の会」をご存知ですか？

失語症は脳卒中や脳腫瘍、事故による頭部への外傷などにより、脳の言語中枢が損傷することで起こる言語障がい、「話す、聞く、読む、書く」という言葉を操ること全般が難しくなるという症状が表れます。社会的認知度は他の障がいに比べ低く、障がい者等級も低く設定されているというのが実情です。

平成12年、失語症者3名とその家族3名が互いに励まし合い、障がいを乗り越えて自立した生活と社会参加を目指し失語症友の会<一関地方>（以下友の会）を発足。16年目を迎えた現在、約40名の会員がリハビリや各種交流会などコミュニケーション力向上に繋がる様々な事に取り組んでいます。

何かに守られてきた15年

「夫が失語症になった時、最初は知らないことだらけでとにかく仲間が必要だった」と話すのは、事務局であり友の会の発足メンバーでもある阿部幸子さん。また、発足当初からボランティアで参加している千葉貞子さんも、「ボランティアでの参加だが、参加者と一緒に自分が活動を楽しんでいる。失語症友の会は気楽な会ですから、一度例会に来てみて下さい」と笑顔をみせます。2人は会の両輪的存在と言えます。

54歳で失語症を発症以来14年に亘りリハビリを続ける友の会会長の佐々木清治さんと、それを二人三脚で支える妻のひとみさんも「阿部さんと千葉さんの尽力が大きい」と口を揃えます。阿部さんは「本当に不思議と何かに守られてきた15年。他地域の友の会や、言語聴覚士（ST）、6人のボランティア、運動や音楽、その他の諸団体の来会など、色々な人達に助けられている。」と感謝を込めて会の15年間を振り返ります。

安心して語り合える場

コミュニケーション障がいとも言われる失語症。原因の9割は脳卒中で、半身に麻痺が残る方も少なく、体の不自由さに加えコミュニケーションも思うようにいかないもどかしさは筆舌に尽くせません。外から見えにくい障がいなので意思疎通が難しく、家に閉じこもりがちになることも多いとか。また、言語聴覚士による長期の指導が望ましい失語症のリハビリも、現行制度では短期間に限定されており、そんな中で少しでも回復に繋がるリハビリの機会が友の会なのです。皆の前で初めての一言、発症以来の笑顔、皆が拍手！こんな場面に感動してきたと異口同音に語ります。

一方で失語症者を支え続ける家族にとっては肉体的、経済的、時にはそれ以上に精神的な負担がかかることも。友の会は当事者にとってのリハビリや交流の場であると同時に家族にとってもまた、失語症を取りまく医療や障がい・福祉制度の情報を共有したり、時には自分の抱える悩みや心の重荷を安心して語り合える場、そしてひと時の安らぎの場でもあるのです。

周囲に理解されにくい失語症に悩む当事者と家族はまだまだ多いはず。リハビリの大切さを実感する佐々木会長は、失語症患者と接点のある医療機関や施設に「まずは友の会を広く知ってもらうこと」と目標を見据えます。一般の方への失語症理解の啓発も含め、友の会は当事者、そして家族にとって「来て良かった」…そう思ってもらえる会を目指しています。

一関市の脳卒中罹患率は全国平均の倍以上。失語症を他人事と考えるには怖い数字です。予防、失語症の理解と共に、ぜひ覚えていて下さい。【失語症友の会<一関地方>】の名を！



市民オーケストラを迎えた例会の様子

地域紹介



自治会長 和賀 久栄さん

～基本情報～

- ◆自治会長：和賀 久栄さん
- ◆87 世帯 260 人が暮らす下猿沢自治会は、猿沢地域内で一番人口の多い自治会です。総務部、産業部、文教部、生活産業部、婦人部の 5 部会からなる組織運営で様々な行事を協力しながら取り組んでいます。

各世代が共に笑顔で輝き続ける集落であるために

交流を通して情報を共有する

「取材なら自治会運動会を見に来るといいよ。その方がたくさんの人から話も聞けるだろうし、自治会の雰囲気も伝わると思うよ。雨の心配はないね。ここ数年は運動会の時はいつも晴天。」と電話口で語るのは下猿沢自治会長を務めて十数年の和賀久栄さん。

予想通り、続いていた曇り空が一気に晴れ渡り、気温 27℃を超え、まるで真夏日を思わせる 6 月 12 日の日曜日に第 28 回目の自治会運動会が開催されました。自治会館から 200m ほど離れた運動場から行進曲が流れ開会のアナウンスが青空いっぱいに響きます。

見渡せば、小さな子どもから高齢者まで本当にたくさんの方々に参加していました。「参加率はいい方だと思いますよ。昨年は 110 名が参加しました。今年もそのくらいになると思います。地域全体として若者の参加が少ないと課題にあげられるようですが、ここでは高校生も参加して手伝ってくれていますよ」と語るのは文教部の部長。「運動会の後に待っている懇親会。これが盛り上がるんですよ！」と続けます。

和賀さんは「多くの方々に参加して交流をする場所ではそれをみんなで楽しむことも大事ですが、(世代の違い) 互いの課題や思っている事を語り合い、集落みんなで情報を共有しているんですよ」と話し合いの場を大切にしている様子が伝わりました。

自治会館は集落の絆を育む場

江刺方面から、一関市の玄関口として交通の要となっている大東町猿沢地域。その中心部から東山町方面へ約 1 km のところに下猿沢自治会館があります。

自治会館は各専門部の活動や老人クラブのサロン活動や伊勢神楽保存会の神楽練習の拠点ともなっており、集落や各種団体の絆を育む集い場です。

館内には、猿沢地区文化祭に出展した婦人部作成のパッチワークや自治会行事の記念写真が飾られています。

「自治会館は、総務部の新年交賀会、生活環境部の健康診断会場、婦人部の料理教室や有志によるパッチワーク教室、子ども会育成会活動等よく使われています。特に文教部主催の『カラオケの集い』は昨年 7 回開催され、非常に盛り上がっています。地域には飲み屋さんやカラオケができる娱乐场所がありませんから、住民の要望もあって企画されたわけです。『地域になれば自分たちで作ろう！』いわゆる課題解決のために住民で考えたアイデアです。カラオケ機械も立派ですよ」と笑顔で語ります。

今後も一人ひとりが笑顔で輝けるために

各専門部は自主的な活動の他地域の関連団体とも連動し、「みんなが平等に役を持つこと」をモットーに一人に負担が重ならないよう調整されています。

総務部では、自主防災活動事業や防災だよりの発行を行っており地域の安心安全も守っています。産業部では農事組合研修会の開催や水路清掃、草刈り等を実施し地域農業の発展とともに生活環境部と一緒に環境整備にも力を入れています。文教部では部会の中に、老人クラブ、子ども会育成会、スポーツクラブ、伊勢神楽保存会などのクラブを設けそれぞれが活動しやすいよう調整を行っています。婦人部の活動も様々ありますが、昨年度は猿沢地区振興会の地域づくり計画策定に関わり、地域の課題・現状や解決策の話し合いに自治会の代表として参加しました。

最後に和賀さんは「集落の課題が大きくなる前に話し合いの場を大切にし、笑顔で過ごしていけるようにみんなで協力していきたい」と今後の姿について語っていました。

各世代が笑顔で運動会を楽しんでいました。80 歳代の杖をついたおばあさんが、「毎年楽しみにしているんです。見るだけでも楽しいですよ」と木陰で涼みながら選手を応援していました。



企業紹介



たきがひら
瀧ヶ平 玉恵さん

～基本情報～

- ◆校 長: 鈴木 孝世さんこうせい
- ◆MAPS室根校: 〒029-1201
一関市室根町折壁字大里 194-1
- ◆電 話: 0191-64-3081
- ◆F A X: 0191-64-3198
- ◆U R L: [http:// mapspg.sakura.ne.jp/](http://mapspg.sakura.ne.jp/)

地域資源を活用しその魅力を発信し続ける

地域資源の素晴らしさ「室根山に恋をした」

室根山は、一関市室根町にある山で、周囲 1495 ヘクタールと共に室根高原県立自然公園を形成しており、北上高地の南部の独立峰として全国的に知られています。標高は 894.7 メートルで、山頂からは太平洋を含む 360 度のパノラマが望め、季節折々の野花や風景を楽しむことができます。

「室根山の特徴的な地形によって発生する上昇気流とそのパノラマに魅せられた私の主人がスクールを開校しました」と語るのは MAPS パラグライダースクール初代校長の夫人である瀧ヶ平玉恵さんです。「金ヶ崎町出身の主人はハンググライダーが趣味で、遠野市などでスカイスポーツをやっていたのですが、『もっと多くの人にスカイスポーツに親しんでもらえるような機会を創出したい』と願い、主人は山を探し求めていました。その中で室根山と出会い、一目惚れしたようです」と続けます。当時の室根村役場の協力のもと、室根山頂からハンググライダーエリアを開発し地域企業として昭和 53 年にスクールが開校しました。

地域の魅力をもっとアピールしたい

現在スクールには、受講中の生徒、受講を修了しパイロット資格を取得した生徒含め 70 名ほどが在籍。

市内唯一のパラグライダースクールですが、多くの受講生は市外・県外なのだから。「近くにこんないい山があるのだからぜひ市内や地元の方々にも体験していただきたい。空から眺める室根山（地域）は本当に素晴らしい」と瀧ヶ平さん。「実は、数名ですが、当スクールに通っている受講生が『県外から通うのは遠い』ということで市内に移住した方もいるんですよ」と続けます。瀧ヶ平さんご自身も初代校長のスクール開校がきっかけで気仙沼市から市内に移住したお一人。「県

外の方が市内に移住するというきっかけが、パラグライダーを通してであれば非常に嬉しいものです。今後もそのきっかけとなり、益々人口がふえてくれたら」と希望に胸が膨らみ、「そのためにも日頃からの情報発信や地域との協力が大事」と語ります。

同スクールでは、6 月から 10 月ごろまでは各種初心者体験の受け入れも行っているとのこと。「体験の種類によっては年齢制限がありますが、初心者コースでは小学校低学年のお子様からご高齢の方まで幅広く体験可能です。専属のインストラクターが安心安全にサポートするので、空からの眺めを楽しむことができますよ」と続けます。

環境の豊かさを活かして

東日本大震災復興支援イベントとして開催されている、東北初の本格的な熱気球競技会「一関・平泉バルーンフェスティバル」にボランティアスタッフとして参加している同スクールのスタッフ。「同じ空での競技繋がりで」と笑顔で語る瀧ヶ平さん。「当日は子ども体験会の実施も行っていますよ」と、パラグライダースクールの PR も忘れません。

「これから室根町内に室根山を望めるカフェを開店しようと計画中です。空からの眺めも最高ですが、豊かな自然環境に囲まれながら美味しいコーヒーを飲んでいただき、地元に残ってもらうことが目的。そして、四季を楽しみながら、ほっと一息つけるそんな場所にしたいです」と語っていただきました。



空を飛ぶことは思っているより、とても簡単です。日常のストレスから解放される至福のひとときをぜひ体験してみてください。お気軽にお問い合わせください

今回の特集は？ 夏本番！！～夏祭り特集～

センターの 〇〇！



川崎町「おらが自慢のでっかい花火大会」
開催日時：8月16日（火）19時～21時

～今月の特集～

夏祭りは半年の無事を「祝い」、災い
が起きないように「鎮める」。それが夏
の「まつり」発祥起源のようです。昔
は台風・日照り・疫病など夏に災害が
起きていました。そのため、鎮魂儀礼
は華やかに、より大きな力が得られる
よう踊りや山車など盛大に行われてい
たそうです。

日中の強い日差しが和らぐ夏の夕暮れ。「カーナカナカナ ♪リンリンリン ♪」カナカナゼミ(ヒグラシ)や鈴虫の輪唱を聞きながら「今年も来るぞ～！行くぞ！飲むぞ！夏祭り！」大人も子どもも楽しみな夏祭りが市内各地で始まりますよ～！！



千厩夏まつり

市

市内で最も早く夏祭りのスタートをきるのは、

千厩町の夏祭りです。今年で44回目を迎え、地域の夏の風物詩として親しまれています。子どもから大人まで楽しめるイベントが目白押し。愛宕町から東栄町までの区間が歩行者天国となり、七夕飾りが商店街を彩ります。日中は幼稚園児等のキッズカーニバル、小学生の郷土芸能等発表、中高生の吹奏楽の演奏が行われ、夜には艶やかな山車や華やかな衣装に身を包んだ踊り手が商店街を練り歩きます。山車は町内各自治会が工夫を凝らし作成。また、笛や太鼓は子ども会ごとに練習を重ね、山車と共に祭りを盛り上げます。



- 祭り開催日
→平成28年7月30日（土）
- 主なイベント
→千厩おどり、山車競演会他
- 問い合わせ先
→一関商工会議所千厩支所 0191-53-2735

昭

和23年、カスリン・アイオン両台風か

らの復興を願い、一関七夕まつりが復活、昭和27年には花火大会も復活し現在の形となった一関夏まつり。今年で65回目を迎える歴史ある夏祭りです。各商店街が飾り付けを競い合う大型七夕で通りが彩られ、鼓笛隊、市民総参加のくるくる踊り大パレード、大一関神輿祭など多彩な行事が3日間にわたり繰り広げられます。夏まつり初日には水難物故者追悼の意を込めた磐井川川開き花火大会、2日目には、時の太鼓のをせた山車が太鼓の音を響かせながら練り歩く二代目時の太鼓の大巡行が行われます。



一関夏まつり



- 祭り開催日
→平成28年8月5（金）～8月7日（日）
- 主なイベント
→花火大会、時の太鼓大巡行、子供七夕神輿他
- 問い合わせ先
→一関夏まつり実行委員会 0191-23-3434

おまつり 情報

●むろね夏まつり
7月31日（日）
開催場所
市役所室根支所
北側駐車場
0191-64-2111

●花泉夏まつり
8月6日（土）
～8月7日（日）
開催場所
市役所花泉支所駐車場
0191-82-3130

●藤沢野焼き祭り
8月13日（土）
～8月14日（日）
開催場所
藤沢運動広場
0191-63-5317

●大原だるま祭り
8月15日（月）
開催場所
大原商店街
0191-72-2282

次回の特集予告… 市内ミュージアム特集です。お楽しみに！！

おしらせ

一関

きららアート巡回展

「いわて・きららアート・コレクション」は、2016年3月で19回目を数える公募展で毎年200点以上の応募申し込みがあり、県内外から2,000人近い方々が見にいらしてくださっています。今回は受賞作品20点を一関で展示します。

【期間】平成28年7月19日(火)～8月28日(日)
【時間】10時～17時(入館は16時30分まで)
【場所】さくらなみき自閉症美術館
【料金】無料
【問合せ】0191-48-3622

一関

スペース・イグ3周年記念公演 シタールと舞踏のタベ

スペース・イグの3周年記念公演です。インドの古典弦楽器「シタール」奏者の南沢靖浩さんをゲストに迎え、即興演奏と舞踏を上演します。寺院や宮廷で育まれた幻想的で華やかなシタールの演奏と、舞踏(ダンス)のコラボをお楽しみください。

【日時】平成28年8月14日(日)18時30分開演
【場所】古民家スペース・イグ(赤荻字上袋204)
【料金】前売1,000円 当日1,200円
【問合せ】070-6565-6821(岩渕)
★先着2名に優待券をプレゼントします！

大東

摺沢水晶あんどん祭り 「思ひ出の夏まつり」

8月13日～15日の3日間、摺沢の商店街全域にあんどんが飾られ、夏の夜を照らします。今年は30周年記念イベントとして、8月14日に「思ひ出づくりの夏まつり」を開催します。コンサートや出店もたくさんご用意しますので、ぜひお越しください。

【日時】平成28年8月14日(日)
16時30分～21時30分
【場所】大東貨物駐車場、街道下地内路上
【問合せ】摺沢水晶あんどん祭り実行委員会
【電話】0191-75-3160

一関

第20回一関夢灯り大会

一関で発生した台風や地震、津波などの災害で犠牲になられた方々を追悼し、同じ災害が二度と繰り返されないことを願い一関夢灯り大会を開催します。※点灯に使用する1.8～3Lサイズの清酒バックを8月10日(水)まで集めています。

【日時】平成28年8月20日(土)17時～20時
【場所】磐井川河川公園
【料金】無料
【問合せ】一関夢灯りの会事務局(小野寺)
【電話】080-6049-8082

一関

第12回 いこいサマーフェスタ

恒例のいこいサマーフェスタを今年も開催します。生演奏やステージでの歌や踊りをはじめ、焼きそば・焼き鳥など充実の屋台コーナー、お子様に人気の縁日コーナー、豪華景品が当たる大抽選会とお楽しみが満載です！ぜひお越しください。

【日時】平成28年8月20日(土)16時～
【場所】介護・福祉センター「いこいの街」
(一関市三関字仲田100)
【問合せ】ケアセンターいこい総本部
【電話】0191-31-1514

一関

いちのせき市民フェスタ16

市民活動団体や個人、社会貢献活動を行う企業が集い活動発表を行います。スタンプラリー、抽選会、ステージ発表のほか、一関市民によるファッションショー「イチコレ」への参加者を募集しています。参加無料で服装は自由です。

【日時】平成28年8月28日(日)10時～15時
【場所】なのはなプラザ
【料金】入場無料
【問合せ】いちのせき市民活動センター
【電話】0191-26-6400

市内

あじさい自動車合宿

農村体験をしながら自動車免許をとろう！期間中一関市内の農家と旅館に泊まり、農業や料理などの生活体験、みちのくあじさい園にてプリザーブドフラワーの収穫・選別体験、狛鼻溪観光等一関の魅力を体験できる9月プランをご用意しています。

【申込締切】8月末日
【料金】AT277,606円、MT291,700円
(※検定・教習・宿泊料込み)
【問合せ】いちのせきニューツーリズム協議会
【電話】0191-82-3111

一関

まちづくりコーディネーター 養成講座

地域づくり活動における基本的な考え方や進め方、知識を身につけて、まちづくりコーディネーターになろう！①まちづくりコーディネーター概論、②話し合いの仕方、③規約・事業計画と資金調達、④情報発信のスキルの全4回講座です。

【期日】平成28年9月10日(土)、10月8日(土)
12月10日(土)、平成29年1月14日(土)
【場所】なのはなプラザ4階 共同会議室
【料金】2,000円(全4回分)
【問合せ】0191-26-6400

川崎

第22回 北上川流域交流Eポート大会

「川との共生」を合言葉に、第22回北上川流域交流Eポート大会を開催します。1チーム10人によるボート競漕で、タイムトライアル方式のレースを2回行います。小学5年生以上の方ならどなたでも参加できます。※運営スタッフも募集しています。

【日時】平成28年9月11日(日)9時～16時
【場所】北上大橋付近の北上川
【参加料】1チーム10,000円
【問合せ】同実行委員会事務局
【電話】0191-36-5666

今月の表紙



花と泉の公園にあるベゴニア館で見つけた涼しげで華やかな演出。ベゴニア館は気温・湿度がしっかり調整されていて、夏に嬉しいひんやり空間！夏季限定の喫茶メニューもありますし、夏休みにご家族で遊びに行ってみてはいかがでしょうか。

Q & A

あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q

自分が行なっている地域活動について、もっと多くの人を知ってもらうにはどんな方法がありますか？

A

毎年8月に開催している「いちのせき市民フェスタ」は、一関を中心に活動している市民活動団体・企業・個人の方が普段の活動を発表し、交流を図りながら広くまちづくりへの参加を呼び掛けるイベントです。参加は無料ですので、この機会を活用し情報周知にお役立てください。

